

畜 号 外
令和4年11月11日

全国農業協同組合連合会岩手県本部県本部長
一般社団法人岩手県畜産協会会長理事
一般社団法人岩手県獣医師会長
公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会会長理事
一般社団法人岩手県配合飼料価格安定基金協会理事長
岩手県動物薬品器材協会会長

様

岩手県農林水産部畜産課総括課長

岡山県及び和歌山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認に伴う監視体制の強化について

このことについて、農林水産省から別添のとおり、プレスリリースがありましたので、お知らせします。

つきましては、養鶏場に立ち入る際は、消毒を徹底するなど病原体の侵入防止対策に御配慮願います。

なお、本病に関する最新情報については、農林水産省ホームページに掲載されております。

農林水産省ホームページ

ホーム > 消費・安全 > 鳥インフルエンザに関する情報

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



【振興・衛生担当（山岸）TEL019-629-5729】

[ホーム](#) > [会見・報道・広報](#) > [報道発表資料](#) > 岡山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

プレスリリース

岡山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

ツイート

印刷

令和4年11月11日
農林水産省

本日（11月11日（金曜日））、岡山県倉敷市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内7例目、岡山県3例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」をもち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1. 農場の概要

所在地：岡山県倉敷市

飼養状況：約3.4万羽（採卵鶏）

2. 経緯

(1) 昨日（11月10日（木曜日））、岡山県は、同県倉敷市の農場から、家きんの異状がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

(2) 同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

(3) 本日（11月11日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

3. 今後の対応方針

本日、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」をもち回りで開催し、今後の防疫措置について速やかに決定します。

4. 農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部

日時：令和4年11月11日（金曜日）（持ち回り開催）

5. その他

(1) 我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html（外部リンク）

(2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、誠に慎むよう御協力をお願いいたします。

特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、誠に慎むようお願いいたします。

(3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

[ホーム](#) > [会見・報道・広報](#) > [報道発表資料](#) > 和歌山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

プレスリリース

和歌山県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について

ツイート

印刷

令和4年11月11日
農林水産省

本日（11月11日（金曜日））、和歌山県白浜町の家きん飼養施設において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内8例目、和歌山県1例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」をもち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：和歌山県白浜町

飼養状況：約60羽（あひる等）

2.経緯

(1) 昨日（11月10日（木曜日））、和歌山県は、同県白浜町の家きん飼養施設から、家きんの死亡がみられるとの通報を受けて、立入検査を実施しました。

(2) 同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

(2) 本日（11月11日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

3.今後の対応方針

本日、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」をもち回りで開催し、今後の防疫措置について速やかに決定します。

4.農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部

日時：令和4年11月11日（金曜日）（持ち回り開催）

5.その他

(1) 我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html（外部リンク）

(2) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、誠に慎むよう御協力をお願いいたします。

特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、誠に慎むようお願いいたします。

(3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。